科目名	作業療法技術学演習Ⅲ(発達障害)【作業】					開講 キャンパス	神 埼
担当者	江 渡 文						
開講年次	4	開講期	後期	単位数	1	必修・選択	選択必修(作業)
授業の概要 及びねらい	発達障害の作業療法を実践するために、症例検討を通して支援方法や治療アプローチについて理解し作業療法の専門性を深める						
授業の 到達目標	1) ADLの活動分析と支援について理解し、技術を習得する 2) 遊びの活動分析と支援について理解し、技術を習得する 3) 症例検討を通して、評価から作業療法プログラム立案までの過程を学ぶ						
学習方法	講義、グループワーク、実技						
テキスト及 び参考書等	正常発達脳性まひ治療への応用 紀伊克昌(三輪書店)						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験	◎					60	
小テスト等							
宿題・授業外レポート		◎				10	
授業態度			○			10	
受講者の発表				◎		10	
授業への参加度			◎			10	
その他							
合計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画(学習内容・キーワードとスケジュール)							
第1週	ADL支援①活動分析						
第2週	ADL支援②疾患別での支援						
第3週	遊びの支援①活動分析						
第4週	遊びの支援②疾患別での支援						
第5週	症例検討①						
第6週	症例検討②						
第7週	症例検討③						
第8週	まとめ						
第9週							
第10週							
第11週							
第12週							
第13週							
第14週							
第15週							
第16週							
備考	授業中わからないことに対して、積極的に質問すること。						